

特集上映

フランス映画の知られざる巨匠 モーリス・ピアラ

開催記念

ヴァン・ゴッホ VAN GOGH

特別先行試写会＋トークショー 開催！

10/18(金)
18:00～

アンスティチュ・
フランセ東京



モーリス・ピアラ —— 《人間》を凝視し続けた、孤高の監督

ヌーヴェル・ヴァーグの監督たち、それに続くオリヴィエ・アサイヤス、クレール・ドゥニ、ミア・ハンセン＝ラヴといった現代の多くの映画作家に比類なき影響をあたえたフランス最高の映画作家の一人、モーリス・ピアラ。フランス本国における評価、知名度は、日本と比ぶべくもないほどに絶大。没後10年を迎えた本年2月、パリ・シネマテーク・フランセーズでは回顧展も開催され、改めて世界的再評価が高まっています。

このたび、カイエ・デュ・シネマ元編集長で、トリュフォーやピアラの評伝で知られる映画史研究家、アントワヌ・ドゥ・ベック氏と、『シネキャピタル』、『絶望論—革命的になることについて』などの著書で知られる映画批評家の廣瀬純氏をお迎えし、トークショー付きの特別先行試写会を開催いたします。日本ではまだ知られざるピアラ作品の魅力について大いに語り合ってくださいませ。ぜひ、ご来場ください。

『ヴァン・ゴッホ』特別先行試写会＋トークショー

日時：10月18日(金) 17:30開場 / 18:00開映

終映予定 20:40。上映後に、アントワヌ・ドゥ・ベック氏 × 廣瀬純氏によるトークショーを予定しております。*逐次通訳付き

会場：アンスティチュ・フランセ東京 2F エスパス・イマージュ
(〒162-8415 東京都新宿区市谷船河原町 15)

お問合せ先：03-5206-2500

料金：一般 1,200円 学生 800円 会員 500円

※上映当日 16:30より、チケット発売。なお、数に限りがございますので、定員に達し次第、締め切らせていただきます。皆様のご理解・ご了承をお願い申し上げます。

共催：アンスティチュ・フランセ東京

INSTITUT
FRANÇAIS
JAPON

ザジフィルムズ

アントワヌ・ドゥ・ベック

ナンテル大学にて映画史を教えている。「カイエ・デュ・シネマ」元編集長。ヌーヴェル・ヴァーグを専門とし、「モーリス・ピアラ事典」(レオ・シュエール社、2008年)を編纂。

廣瀬 純 (ひろせ・じゅん)

1971年生まれ、龍谷大准教授。専門は映画論、現代思想。著書に、『闘争の最小回路』(人文書院、2006年)、『シネキャピタル』(洛北出版、2009年)、『峰起とともに愛がはじまる』(河出書房新社、2012年)など。訳書にヴィルノ『マルチチュードの文法』(月曜社、2004年)、ネグリ『芸術とマルチチュード』(月曜社、2007年)など。